

**製品名: ASC-1 ウサギポリクローナル抗体**

**カタログ番号: APRab07207**

研究使用のみ

## 概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	66kDa

## 抗原情報

遺伝子名	TRIP4
別名	TRIP4; Activating signal cointegrator 1; ASC-1; Thyroid receptor-interacting protein 4; TR-interacting protein 4; TRIP-4
遺伝子 ID	9325.0
SwissProt ID	Q15650
免疫原	抗血清はヒト TRIP4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 81-130

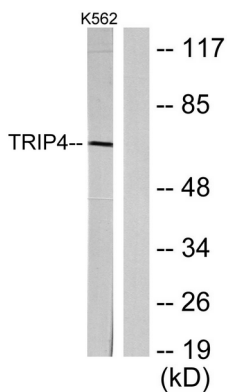
## 背景

この遺伝子は、四量体核活性化シグナル共インテグレーター 1 (ASC-1) 複合体のサブユニットをコードしており、転写共役因子、核

内受容体、および基礎転写因子と会合して、核内受容体を介した転写を促進します。このタンパク質は核内に局在し、E1A型ジンクフィンガードメインを有し、転写共役因子およびリガンド結合核内受容体（甲状腺ホルモン受容体やレチノイドX受容体αなど）との相互作用を媒介しますが、グルココルチコイド受容体とは相互作用しません。この遺伝子の変異は、先天性骨折を伴う脊髄性筋萎縮症-1 (SMABF1) と関連しています。[RefSeq 提供、2016年4月]、機能: CBP-p300 および SRC-1 と連携して機能し、異なる細胞条件下で異なる共役因子複合体の形成に重要な役割を果たす可能性がある、核内受容体の転写共役因子。NF-κB、SRF、および AP1 の転写活性化において極めて重要な役割を果たします。核内受容体と AP1 または NF-κB との間の転写抑制のメディエーターとして機能します。アンドロゲン受容体の転写活性化および精巣機能において役割を果たします。細胞内局在: 血清欠乏状態では細胞質内。サブユニット: 甲状腺受容体 (TR) のリガンド結合ドメインと特異的に相互作用します。この相互作用には甲状腺ホルモンが必要です。ASCC1、ASCC2、および HELIC1 と会合した定常複合体として存在します。アンドロゲン、テストステロン、およびジヒドロテストステロン依存的にアンドロゲン受容体であるアンドロゲン (AR) と相互作用します。、

## 研究分野

## 画像データ



TRIP4 抗体を用いた K562 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。